

平成19年3月期 第3四半期業績の概況（連結）

平成19年2月9日

上場会社名 株式会社 ほくやく・竹山ホールディングス
(URL <http://www.hokutake.co.jp/>)

(コード番号: 3055 札証)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 眞鍋 雅昭
問合せ先責任者役職名 経理部長 氏名 吉田 敏明

TEL: (011) 737 - 1030(代表)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

税金費用の計算

連結会社の個別財務諸表上の税金費用については、当年度の見積実効税率を用いて計算しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第3四半期業績の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	125,272	(-)	1,687	(-)	2,140	(-)	1,042	(-)
18年3月期第3四半期	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
(参考)18年3月	-		-		-		-	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期	40	12		
18年3月期第3四半期				
(参考)18年3月				

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期(平成18年4月1日～平成18年12月31日)のわが国経済は、好調な企業業績を背景に民間設備投資が堅調に推移するなど、景気は回復基調で推移いたしました。医薬品業界におきましては、4月に平均6.7%の薬価引下げが実施されましたが、高齢化の進展や新薬効果により市場全体としては安定的な推移となりました。このような状況の中、当社は、平成18年9月29日に、株式移転により株式会社ほくやく(医薬品卸売業)と株式会社竹山(医療機器卸売業)を完全子会社とする共同持株会社として設立されました。北海道の市場全体を網羅するヘルスケア流通業への業態転換を目指して、経営統合によるシナジー効果を早期に実現すべく各種施策を展開しております。

以上の結果、当第3四半期は、連結売上高1,252億72百万円、連結経常利益21億40百万円、連結四半期純利益10億42百万円となりました。

(2)財政状態(連結)の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産 百万円	純資産 百万円	自己資本比率 %	1株当たり純資産 円 銭
19年3月期第3四半期	107,474	37,440	34.8	1,437 13
18年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)18年3月	-	-	-	-

[連結キャッシュ・フローの状況]

	営業活動による キャッシュ・フロー 百万円	投資活動による キャッシュ・フロー 百万円	財務活動による キャッシュ・フロー 百万円	現金及び現金同等物 期末残高 百万円
19年3月期第3四半期	1,615	2,789	935	16,201
18年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)18年3月	-	-	-	-

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期のキャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期において、営業活動による資金の増加は1,615百万円になりました。これは主として、売上債権の増加2,949百万円、たな卸資産の増加3,198百万円及び法人税等の支払額1,470百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益1,042百万円及び仕入債務の増加額7,815百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期において、投資活動による資金の減少は2,789百万円になりました。これは主として有形固定資産の取得による支出2,618百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期において、財務活動による資金の減少は935百万円になりました。これは主として、借入金の返済687百万円及び配当金の支払233百万円によるものであります。

3. 平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高 百万円	経常利益 百万円	当期純利益 百万円
通 期	168,000	2,600	1,000

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 38円50銭

上記の予想は本資料の作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

[業績予想に関する定性的情報等]

当期業績予想につきましては、平成18年11月17日発表時の業績予想から変更はありません。

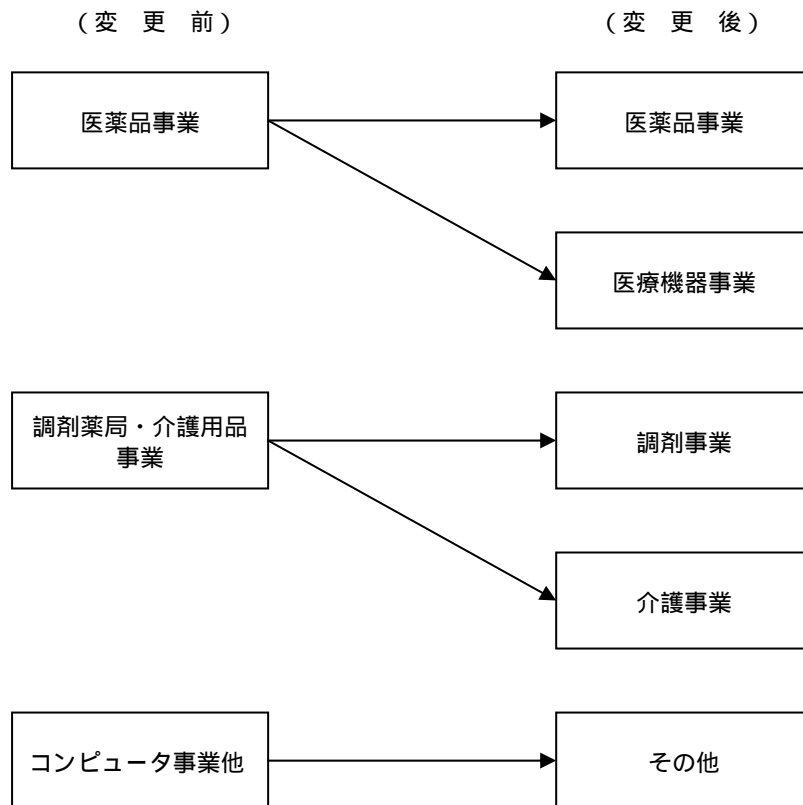
4. セグメント情報

当連結第3四半期（自平成18年4月1日至平成18年12月31日）（単位：百万円未満切捨）

	医薬品 事業	医療機器 事業	調剤事業	介護事業	その他	計	消去又 は全社	連 結
売上高及び 営業損益								
売上高 (1)外部顧客に 対する売上高	105,654	13,378	4,156	895	1,187	125,272	-	125,272
(2)セグメント 間の内部 売上高又は 振替高	3,435	70	6	-	347	3,859	(3,859)	-
計	109,089	13,449	4,163	895	1,534	129,131	(3,859)	125,272
営業費用	107,570	13,305	4,150	829	1,524	127,380	(3,795)	123,584
営業利益	1,519	143	12	65	9	1,750	(63)	1,687

当連結第3四半期よりセグメントの区分を変更いたしました。

この変更は、医療機器事業の売上構成比が10%を超過したこと、当社グループの経営戦略上の事業フィールドの区分見直しを行ったものであります。



尚、セグメント変更前の状況は次の通りです。

当連結第3四半期（自平成18年4月1日 至 平成18年12月31日）（単位：百万円未満切捨）

	医薬品 事業	調剤薬 局・介護 用品事業	コンピ ュータ 事業他	計	消去又は 全社	連 結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	119,033	5,051	1,187	125,272	-	125,272
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,505	6	347	3,859	(3,859)	-
計	122,538	5,058	1,534	129,131	(3,859)	125,272
営業費用	120,875	4,980	1,524	127,380	(3,795)	123,584
営業利益	1,662	77	9	1,750	(63)	1,687

5. 販売の状況

（百万円未満切捨）

期 別 項 目	当連結第3四半期 〔自平成18年4月1日 至平成18年12月31日〕	
	金 額	構成比
	百万円	%
<医薬品事業>		
医療用医薬品	100,820	80.5
一般用医薬品	3,698	3.0
その他	1,135	0.9
小 計	105,654	84.3
<医療機器事業>	13,378	10.7
<調剤事業>	4,156	3.3
<介護事業>	895	0.7
<その他>	1,187	0.9
合 計	125,272	100.0

(添付資料)

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨)

科 目	期 別	当四半期
		(平成18年12月31日現在)
		金 額
(資産の部)		百万円
流動資産		
現金及び預金		16,510
受取手形及び売掛金		47,823
たな卸資産		12,760
繰延税金資産		673
その他の現金		4,662
貸倒引当金		261
流動資産合計		82,168
固定資産		
1 有形固定資産		
建物		4,581
土地		6,517
その他の		376
有形固定資産合計		11,475
2 無形固定資産		
のれん		1,385
その他		534
無形固定資産合計		1,920
3 投資その他の資産		
その他現金		12,589
貸倒引当金		703
投資その他の資産合計		11,885
固定資産合計		25,281
繰延資産		24
繰延資産合計		24
資産合計		107,474
(負債の部)		
流動負債		
支払手形及び買掛金		64,614
短期借入金		891
未払法人税等		280
引当金		559
その他		935
流動負債合計		67,281
固定負債		
長期借入金		98
繰延税金負債		1,895
引当金		696
その他		62
固定負債合計		2,752
負債合計		70,034
(純資産の部)		
株主資本		
資本金		1,000
本剰余金		12,756
利益剰余金		22,409
自己株式		7
株主資本合計		36,158
評価・換算差額等		
その他有価証券差額金		2,744
土地再評価差額金		1,583
評価・換算差額等合計		1,161
少数株主持分		121
純資産合計		37,440
負債及び純資産合計		107,474

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円未満切捨)

科 目	期 別	当四半期	
		〔自 平成18年4月1日〕 〔至 平成18年12月31日〕	
		金 額	
		百万円	
売上	高価	125,272	
返上	原	115,209	
品調	引当	1	
調整	金繰		
引当	利益	10,061	
総	益		
売上	及	8,374	
販売	び		
費	一	1,687	
業	般		
管	理	547	
業	費	94	
業	外		
外	収	2,140	
常	入		
利	益	362	
特	別	680	
別	損		
純	利	1,822	
益	益		
税	及	593	
金	び		
等	事	216	809
調	業		
整	税		
前	額		
四	調		
半	整		
期	額		
純	損		28
利	失		
益	益		1,042

3. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切捨)

科目	期別	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期)
		金額
		百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益		1,042
減価償却費		384
開業費償却		1
のれん償却		152
受取利息及び受取配当金		116
支払利息		5
固定資産売却損益		53
転籍加算金		352
売上債権の増加額		2,949
たな卸資産の増加額		3,198
仕入債務の増加額		7,815
その他		268
小計		3,275
利息及び配当金の受取額		116
利息の支払額		5
法人税等の支払額		1,470
経営統合諸費用の支払額		15
事務所移転費用の支払額		285
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,615
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金等の預入による支出		51
定期預金等の払戻による収入		30
有形固定資産の取得による支出		2,618
有形固定資産の売却による収入		233
無形固定資産の取得による支出		176
投資有価証券の取得による支出		199
繰延資産の取得による支出		7
貸付金の回収による収入		0
投資活動によるキャッシュ・フロー		2,789
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出		500
長期借入金の返済による支出		187
自己株式の売却による収入		0
自己株式の取得による支出		13
配当金の支払額		233
財務活動によるキャッシュ・フロー		935
現金及び現金同等物の増加額		2,109
現金及び現金同等物の期首残高		15,528
新規連結子会社の現金及び現金同等物の受入高		2,781
現金及び現金同等物の四半期末残高		16,201

4. (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

当四半期(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日) (単位:百万円未満切捨)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高	1,000	12,952	21,785	316	35,422
当四半期連結会計期間変動額					
剰余金の配当	-	-	233	-	233
役員賞与	-	-	58	-	58
当四半期純利益	-	-	1,042	-	1,042
自己株式の処分	-	196	123	308	10
土地再評価差額金の取崩	-	-	3	-	3
株主資本以外の項目の 当四半期連結会計期間の変動額(純額)	-	-	-	-	-
当四半期連結会計期間変動額合計	-	196	623	308	736
平成18年12月31日残高	1,000	12,756	22,409	7	36,158

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算差額 等合計		
平成18年3月31日残高	2,226	1,586	639	138	36,200
当四半期連結会計期間変動額					
剰余金の配当	-	-	-	-	233
役員賞与	-	-	-	-	58
当四半期純利益	-	-	-	-	1,042
自己株式の処分	-	-	-	-	10
土地再評価差額金の取崩	-	3	3	-	-
株主資本以外の項目の 当四半期連結会計期間の変動額(純額)	517	-	517	16	501
当四半期連結会計期間変動額合計	517	3	521	16	1,240
平成18年12月31日残高	2,744	1,583	1,161	121	37,440